

令和7年度いばらきものづくり教育フェア

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール実施要項

1 目 的

- ・習得した知識や技能を活用し、衣服等の布を再利用して新たなものをつくる喜びやその製作品を活用する楽しさを味わう機会とする。
- ・競技に参加することを通して、ものづくりについて、仲間と交流する楽しさを味わう機会とする。
- ・自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
- ・製作を通して、ものを大切にする心や成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。

2 主 催 茨城県教育委員会

3 共 催 茨城県教育研究会

4 審査日 令和7年11月14日（金） 【審査会場：茨城県庁】

※ 競技者は参集せず、事前に提出された製作品とレポートにより審査を行う。

5 競技にかかわる事項

- ・競技者は、県内の学校に在籍する中学生とし、個人で参加する。
- ・事前に提出された製作品「バッグ」と書類「レポート」によって競技する。
※ スキルコンテストは行わない。
- ・上位入賞者は、関東甲信越地区大会に出場する。
- ・関東甲信越地区大会の上位入賞者は、**全国大会に出場（オンライン開催【令和8年1月31日（土）】）**する。
- ・より多くの生徒に競技の機会を与えるという観点から、アイデアバッグ部門と生徒作品コンクール部門の両方にエントリーすることはできないものとする。

6 課題及び製作上の注意

※ 全国中学生創造ものづくり教育フェアの大会要項に準ずる。

(1) 競技の課題

「バッグ（ショルダーバッグ、トートバッグ、リュックサックなど）」とする。

(2) 製作上の注意

① 使用する布について

- ・バッグ本体の全部または、一部に、家庭にある自分または、家族の衣服を用いる。その他、衣服以外の布などを加えてもよい。

② デザイン及び機能について

- ・衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。
(例：ポケットの形状やボタンをそのまま利用する など)
- ・『バッグ』の口を閉じられるようにして、中身が出ない工夫をする。

③ 縫製について

- ・入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。
- ・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。
- ・スナップは、必ず1つ以上付ける。
- ・3時間程度で製作できる作品とする。

④ レポートについて

- ・レポートには、「テーマ」、「構想」、「自分や家族の生活を豊かにする視点」、「私にとってのものづくりの視点」と「衣服の再利用の工夫（どの部分をどのように活用するか）」その理由を明記すること。
- ・まつり縫い・スナップを取り入れた部分を明記すること（朱書きする）。
- ・解体前の全体像を、写真またはイラストで表す。

⑤ 作品全般について

- ・生成 AI による生成物を自己の成果物として応募・提出しないこと。

7 審査及び表彰

(1) 審査項目

評価項目		評価の内容
レポート	記述内容	「自分や家族における課題」、「解決方法（衣服等の再利用を含む）」、「期待される効果」、「製作工程」、「型紙の配置」、「まつり縫い、スナップを取り入れた部分」を具体的に記述しているか。
縫製	①縫い代の幅と始末の仕方	・布やバッグの部位に応じて、適切な幅であるか、縫い代を適切に始末しているか。
	②ミシン縫い	・バッグの部位に応じて、縫い目の大きさや強度が保たれる工夫をしているか。
	③手縫い（まつり縫い、スナップ）	・まつり縫いが適切にできているか。 ・スナップを適切に付けているか。
	④出来栄	・作品の出来栄はどうであるか。
衣服の再利用	デザイン及び機能性	・衣服の一部の利用は、テーマに応じたデザインになっているか。 ・衣服の一部の利用は、テーマに応じた機能を満たしているか。 ・使う人の立場に立った工夫がされているか。

【製作品】

- ・製作テーマに応じたデザイン・機能になっているか。
- ・使う人の立場に立った工夫がされているか。
- ・布やバッグの部位に応じて、適切な幅であるか、縫い代を適切に始末しているか。
- ・部位に応じて、縫い目の大きさや強度が保たれるようにミシン縫いの工夫をしているか。
- ・まつり縫いが適切にできているか。
- ・スナップを適切に付けているか。

【レポート】

- ・製作テーマ、構想、PRが、はっきりしているか。
- ・課題とその解決方法、期待されている効果について、具体的に説明しているか。
- ・製作工程、型紙の配置、まつり縫いやスナップを取り入れた部分について、具体的に示されているか。
- ・必要な事項が、もれなく、分かりやすく書かれているか。

(2) 審査員 茨城県教育庁学校教育部義務教育課 指導主事 ほか

(3) 審査結果の通知及び表彰

- ・上位入賞者は、11月14日（金）に担当者から参加申込書（応諾書）に記載されている学校電話番号に連絡する。なお、上位入賞者は、11月16日（日）に県庁にて表彰式を行う。
- ・上位入賞者は、関東甲信越大会に出場する。

8 参加申込

(1) Web 登録

- ① 登録期間 令和7年9月8日（月）～令和7年10月24日（金）

【参加申込用 QR コード】



② 登録方法

下記 URL から、申込みフォームに進み、登録する。

<https://forms.gle/EqFMSNpwLoZ1mMW28>

回答は、茨城県教育委員会と信頼できる組織ユーザーに限定されているため、茨城県教育情報ネットワークに個人アカウントまたは学校代表でログインした状態で行う。

(2) 参加申込書(応諾書)、製作品、レポートの提出

① 提出期間 令和7年9月8日(火)～令和7年10月24日(金)

② 提出方法

県研究部の Web ページ(「<http://kyoikuplaza-ibk.or.jp/kenkyukai/>」各研究部→家庭、技術・家庭研究部)から様式をダウンロードする。印漏れ、記入漏れ等がないことを確認し、担当者あて製作品とともに提出する。レポートは、カラーで5部提出すること。

【問合せ先】

いばらきものづくり教育フェア

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール担当

潮来市立牛堀中学校 教諭 本橋 諭

〒311-2433 茨城県潮来市堀之内 1009

電話：0299-64-2231 FAX：0299-80-3107